

教科・領域【 芸術 】 科目【 書道 】

学科・コース	全学科	学 年	第 1 学年	単位数	2 単位
--------	-----	-----	--------	-----	------

1 学習内容と学習到達目標

<p>東洋独自の芸術，書道に親しみ，表現する喜び，愛好する喜びを得させる。</p> <p>(1) 書の表現力を高めるために，書の基本的技能，理論，鑑賞を繰り返し学習させる。</p> <p>(2) すぐれた書の名跡を学ぶことにより，書の技法を高め，創作（倣書）力を培う。</p>
--

2 使用する主な教材等

<p>(1) 使用教科書，副教材等 教科書：『新編 書道 I』教育出版</p>
<p>(2) 授業で配布するもの ファイル，振り返りシート，授業プリント，印材，条幅紙 等</p>

3 年間の学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (特記事項や他教科との関連等)	考查範囲等
一 学 期	1 さあ，始めよう ①オリエンテーション ②硬筆の学習	4	○書の学習方法を把握する。 ○中学までの書写学習を活かし，硬筆展の作品制作を行う。	○中学国語科の学習と関連 ○世界史の学習と関連 ○世界史の学習と関連 ○世界史の学習と関連 ○世界史の学習と関連	なし
	2 漢字の書の学習 ①書体の変遷 ②楷書の学習 ・楷書の基本	5 6	○漢字五書体の歴史的な変遷について理解する。 ○九成宮醴泉銘と孔子廟堂碑を題材とし，臨書を通して楷書の基本点画の用筆法を確認する。		
	・軽快と重厚 ・方勢と円勢	7	○雁塔聖教序と顔氏家廟碑の両古典の比較を通してそれぞれの特徴と書法を理解し，表現方法を習得する。 ○牛橛造像記と鄭義下碑の両古典の比較を通してそれぞれの特徴と書法を理解し，表現方法を習得する。		
	《課題・提出物等》 毎時間の作品，ファイル				
	《1学期の学習状況の評価方法》 毎時間の作品，授業態度，出席状況				

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 (特記事項や他教科との関連等)	考查範囲等
二 学 期	③行書の学習 ・中国の書 ・日本の書	9	○「蘭亭叙」の鑑賞と臨書を通して、行書の基本的な筆使いを習得する。 ○「風信帖」の鑑賞と臨書を通して、唐代の書風を取り入れた空海（三筆）の表現を理解し、表現する。	○世界史の学習と関連 ○日本史の学習と関連	なし
	④文化祭の作品制作	10	○これまでに学習した古典を色紙に表現し、相互鑑賞を行う。 ○隷書の成立について理解する。 ○「曹全碑」の鑑賞と臨書を通して、蔵鋒や波磔といった八分隸の基本的な用筆法を習得する。	○特別活動の学習と関連 ○世界史の学習と関連	
	⑤隷書の学習 ・八分隸	11	○「泰山刻石」の鑑賞と臨書を通して、小篆の均整のとれた字形や中鋒といった基本的な用筆法を習得する。		
	⑥篆書の学習 ・小篆				
3 篆刻 ・自分の姓名印を作製する。	12	○篆刻の種類について理解する。 ○印刀や印床の使い方に気をつけ、自分の姓名印を作製する。			
4 漢字仮名交じりの学習（1） ・カレンダー制作 ・年賀状の書き方		○カレンダーを作製し、相互鑑賞する。 ○年賀状の書き方を理解する。 ○手書き文字と活字の違いや良さについて考え、意見交換を行う。	○国語の学習と関連		
《課題・提出物等》 半紙展作品，文化祭作品，毎時間の作品，ファイル					
《2学期の学習状況の評価方法》 毎時間の作品，授業態度，出席状況					
三 学 期	5 仮名の学習 ・いろは歌 ・連綿 ・古典の臨書	1	○仮名の歴史を理解する。 ○いろは歌や連綿の練習を通して、仮名の運筆法を習得する。	○日本史・国語の学習と関連	なし
	6 漢字仮名交じりの書（2） ・思いを書で表現する		○漢字と仮名の調和を考えながら、構成の組み立てる。 ○これまで学習した運筆・用筆法を用いて、自由に表現する。	○国語の学習と関連	

期	《課題・提出物等》 毎時間の作品, ファイル
	《3学期の学習状況の評価方法》 毎時間の作品(篆刻を含む), 授業態度, 出席状況
	《年間の学習状況の評価方法》 毎時間の作品, 授業態度, 出席状況